

5 日程

9 : 4 0 ~ 1 0 : 0 0	受付	玄関
1 0 : 1 0 ~ 1 0 : 4 0	開会のご挨拶 全体会	体育館
1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 4 0 〈小学部は11 : 35まで〉	公開授業（4グループ）	小学部 : 小学部高学年教室 中学部 : 中学部2年生教室 高等部① : 会議室 高等部② : 美術室
1 1 : 4 0 ~ 1 3 : 0 0 〈12 : 20~12 : 50〉	昼食・休憩 教材ワークショップ等	体育館
1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 4 0	分科会	小学部 : プレイルーム 中学部 : ランチルーム 高等部① : 会議室 高等部② : 美術室
1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0	講演会	体育館
1 6 : 2 0	閉会	

6 講演

「特別支援教育における ICT 活用」

金森 克浩 氏（帝京大学教授）

～概要～

2020 年より始まった GIGA スクール構想により、1 人 1 台の端末が配備され、特別支援学校でも ICT を活用した実践が始まっています。しかし、学校での活用を見ると、動画再生マシンとして、教員主導の提示装置として使われている例もあるようです。これらの使い方が悪いわけではありませんが、もう一歩進んだ活用が必要ではないかと考えます。

特別支援教育での ICT 活用のポイントは「自立と社会参加に向けて」「コミュニケーション支援として」「学びの楽しさを知るため」と考えます。子どもたちが学びの主体者として ICT を活用することで、生活の主体者になるためにはどのような事が可能か、いくつかの事例を示しながら、お話をしたいと思っています。

7 申込方法

参加申込は、郵便、FAX、メールまたは Google フォーム（以下 QR コード）でお願いします。
申込用紙は本校ホームページ（<http://www.pal.wakayama-u.ac.jp>）よりダウンロードしてください。

申込期日 令和 6 年 1 月 1 2 日（金）

問い合わせ及び申込先

和歌山大学教育学部附属特別支援学校 研究発表会事務局

〒641-0031 和歌山県和歌山市西小二里 2 丁目 5 番 1 8 号

TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597

メールアドレス wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp

Google フォーム <https://forms.gle/Vk9twGGAM8s5iKv27>



8 その他

- （１）昼 食 弁当を（お茶付き）ご希望の方は、申込用紙にて事前にお申し込みください。
弁当代（1,000円）は受付時にお支払いください。引換券をお渡しします。
- （２）アクセス 本校へはホームページの地図、案内をご覧頂き、お越しく下さい。
駐車スペースが少ないため、公共交通機関の利用にご協力ください。
＊スリッパ・上履き等をご持参ください

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

令和 5 年度研究発表会（ご案内）

考える子を育てる

～これからを生きる子どもたちと ICT～

ごあいさつ

社会の変化が著しく、ますます多様化、複雑化する速度が速くなってきました。そのような社会において、児童生徒一人一人が決して受け身になるのではなく、自己を認識し他者と関わり、主体的に課題を自覚し、自らの可能性をできる限り発揮できる「生きる力」を培うことは大切であり我々教職員の責務であると感じています。「何を学ぶか」「何ができるようになるか」に目を向け児童生徒に対してどのような資質・能力を目標にするのかが問われています。

本校では、「考える子を育てる～これからを生きる子どもたちと ICT～」というテーマで研究を行って参りました。子どもたち一人一人の実態や特性により、ものの見方、感じ方、考え方は異なります。現在も学校卒業後も「よりよく生きる」ためには「考える」ことが重要であり、生活全般において「課題に直面した時に主体的に自己決定できる」「課題を乗り越えるための自分なりの方略を身につけていく」「自分を識り他者との関わりの中で折り合いをつけていく」力が「考える」基本であると考えています。児童生徒は、様々な認知特性、思考の構造化、自己表出、自己肯定感、興味関心、コミュニケーションマインド等の多様性を有しています。児童生徒自らが、よりよく生きるために、主体的に「考える」ことができるためのツールとして「ICTを活用する」ことに着目し「授業づくり」を行って参りました。ICTを活用した授業を通して、児童生徒自らが自分の可能性に気づき、それを引き出し、認め合い、考える力のよりよい手段、ツール、自信へとつながることを目指しています。

ご多用とは存じますが、ぜひとも皆様方のご参会を賜り、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸甚でございます。多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております。

和歌山大学教育学部附属特別支援学校長 米田 良博

開催要項

- 1 主催 和歌山大学教育学部附属特別支援学校
- 2 後援 和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山県特別支援学級・通級指導教室設置校長会
- 3 期日 令和 6 年 1 月 2 0 日（土）
- 4 会場 和歌山大学教育学部附属特別支援学校
〒641-0031 和歌山県和歌山市西小二里 2 丁目 5 番 1 8 号
TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597
<http://www.pal.wakayama-u.ac.jp>

和歌山大学教育学部附属特別支援学校 令和5年度研究発表会

令和6年1月20日（土）

考える子を育てる

～これからを生きる子どもたちとICT～ 公開授業

10:50～11:40（小学部は11:35まで）

小学部

高学年
「生活」「めざせ！動物園ガイド！」
授業者：廣重拓野 宮井仁美



中学部

2年
キャリア「中学部の作業を分かりやすく紹介しよう」
授業者：藪田紬 奥野浩二

高等部①

普通科総合産業コース 2年
セルフデザイン「ツッコミ café～自分自身を見てみよう～」
授業者：向井直樹



高等部②

普通科キャリア情報コミュニケーション Aグループ
キャリア「伝え合うって素晴らしい」
授業者：児嶋修梧 宮崎美幸

教材ワークショップ等

本校の取り組みや指導実践、教材・教具を展示いたします。特別支援教育に関わる多方面のみなさまと、情報交換ができる場になればと考えております。

時 間：12:20～12:50
場 所：体育館

講演会

「特別支援教育におけるICT活用」



講師 金森克浩氏
（帝京大学教授）
時間：14:50～16:20

分科会

1. 小学部

小学部では、「あこがれをもつ・未来に思いをはせる～これからを楽しみに～」をテーマにICTを活用しながら研究を進めています。子どもたちが先のことを楽しみにしたり、自分の成長を実感し、嬉しく感じたり、友だちとこれからを期待したりすることができる学習に出会い、「〇〇してみたいな」「これからどうなるのかな」「〇〇になりたい」と思いを抱いてほしいと願っています。分科会では「子どもたちのわくわくをめざして～これからを楽しみに～」について、公開授業の内容を交えながら、子どもたちの思考につながる学習及びICTの効果的な活用について協議する予定です。

提案者	西本一史
司会者	小林史
研究協力者	北岡大輔（和歌山大学講師）
助言者	竹中久美子（県学校教育局県立学校教育課特別支援教育室指導主事）

2. 中学部

中学部では、スキルの向上や支援ツールとしてだけでなく、キャリア教育の視点からICTを活用することを大切にしてきました。プレゼンテーションアプリを使って、各学年の係の仕事や学校行事を紹介することを通して、自分の言動をふり返り考えることや、相手の立場で物事を考えて分かりやすく伝えることなど、自己理解・他者理解を含んだ内容を取り入れた実践に取り組んでいます。

分科会では、『自分の伝えたいことを相手に分かりやすく伝えよう』というテーマで、より相手に分かりやすく伝えるためのICTの使い方や支援の仕方について、公開授業の協議も交えながら、参加者のみなさまと共に考えていきます。

提案者	山路公美子
司会者	辻本佐和美
研究協力者	古井克憲（和歌山大学准教授）
助言者	恋田剛彰（県学校教育局県立学校教育課特別支援教育室主任指導主事）

3. 高等部①

生徒たちが「どうすればいいのか」を自分なりに考えて行動し、客観的にふり返る実践に取り組んでいます。ICT活用の観点では、メディアの活用として、教員が撮影した動画をふり返りに使用しました。客観的に自己観察する有効な支援の1つとして考えています。分科会では、「生徒たちが自分なりに意味・方略を見出して活動に取り組んでいくためのアプローチについて」をテーマとし、これまでの実践の報告と公開授業を踏まえて協議を行う予定です。

提案者	宗田直美
司会者	三木理恵子
研究協力者	山崎由可里（和歌山大学教授）
助言者	和田伸敏（県学校教育局県立学校教育課特別支援教育室指導主事）

4. 高等部②

子どもたちが豊かな人間関係を育み、コミュニケーションを楽しめるようになるために、ICT（SNS）を活用し、実践を行ってきました。子どもたちは小学部・中学部からの内部進学者で、障害特性や語彙の少なさ、言語理解の難しさなどからコミュニケーションに課題が見られます。公開授業では、これまでの授業でつけた力を使い、ICTを活用せずに対面における授業を行う予定です。分科会では、これまでの研究の成果を報告し、身に付けたコミュニケーションの力を日常生活場面に般化するためにはどのようにすれば効果的であるか参加者のみなさまと協議をする予定です。

提案者	井上典子
司会者	小畑伸五
研究協力者	竹澤大史（和歌山大学准教授）・豊田充崇（和歌山大学教授）
助言者	宮本真吾（県学校教育局県立学校教育課特別支援教育室指導主事）